



## RESOLUTION No. 15) AGAINST IMPUNITY IN GUATEMALA

### 第15号決議) グアテマラにおける刑事免責への抗議

第29回国際公務労連 (PSI) 世界大会  
2012年11月27日-30日、南アフリカ・ダーバン

グアテマラで近年、労働組合と社会運動のリーダーに対する極端な暴力が憂慮すべき増加を遂げていることに、深い懸念をもって留意し、

労働組合員と農民、地域社会のリーダーが身元不明の人物によって殺害された事件の解決において、同国の関係省庁が進歩を見せていないことに失望し、

グアテマラ政府と司法制度に対する国際労働組合、ITUC、GUFの糾弾を支持し、

刑事免責の問題と、生存権、結社の自由、団体交渉権の欠如を考察し、

過去3年で、その大部分がグアテマラ全国保健組合 (SNTSG) のメンバーである保健部門の労働組合員20名以上が殺害された事実に狼狽し、

第29回世界大会に対し、これらの殺害を謀り、実行した犯人の行方についてグアテマラ政府が司法調査を促進し、刑事司法制度にしたがって犯人を厳しく罰することを要求するよう要請する。

同様に、グアテマラにおける結社の自由の全面的な保証と、公共サービス労働者の団体交渉権の認識と推進、反労働組合的暴力行為の根絶、労働組合員に対する犯罪の刑事免責の中止を求める。

。

最後に、第29回世界大会に出席する代議員に対し、本決議案の写しを自国のグアテマラ大使館に送るよう求める。

行動プログラムおよび規約を含む大会決議 [Congress resolutions](#) を参照のこと